

金 寺 山 廃 寺

—第1・2・3次発掘調査報告書—

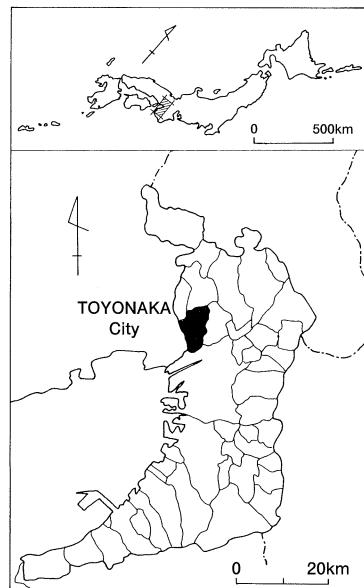


平成 16 年（2004 年）3 月

豊中市教育委員会

金寺山廐寺

—第1・2・3次発掘調査報告書—



平成 16 年（2004 年）3 月

豊中市教育委員会

序 文

豊中市は大阪平野の北西部に位置し、緑成す千里丘陵と猪名川によって形成された肥沃な沖積平野を抱え、自然環境に恵まれた良好な地域であります。この恵まれた環境を生活舞台として古来より人々が活動を続け、大地には多くの足跡が刻まれています。しかし、20世紀はじめごろからは商都大阪のベットタウンとして、また地勢的な条件も加味され、交通の要衝として開発が進められ、特に戦後においては急速に近代的な都市へと変貌を遂げてまいりました。

今回報告する遺跡は阪急宝塚線豊中駅の東方500m付近の小高い台地上に位置し、飛鳥時代後半から平安時代初期にかけて存続していました古代寺院であります。隣接する南側には7世紀代の古墳群があり、西側の一段低い低位段丘上には古墳時代から歴史時代に亘る本町遺跡が広がっています。このように生活の場所としての集落、墓域、寺院という歴史的空間が捉えられる貴重な地域であります。特に国分寺が出現するまでの古代寺院は有力氏族の氏寺であり、7～8世紀代にはこの有力氏族によって地域の中心地として発展したことが窺えます。

このような発掘調査も、多くの方々の協力によって初めて実現されるものであります。このたびも同様であり、発掘調査におきましては、諸先生方にご指導を賜り、土地所有者ならびに近隣の方々には多大な協力をいただきました。さらに文化庁、大阪府教育委員会そして関係機関には、格別のご指導とご配慮をいただきました。

このような各方面の方々のお力添えにより、文化財行政が一層推進できますことに対し、皆様に厚くお礼申し上げるとともに、これから市政と市民生活に、このような報告書が少しでもお役に立てるならば望外の喜びであります。

平成16年（2004年）3月

豊中市教育委員会
教育長 淺利敬一郎

例　　言

1. 本書は、豊中市本町8丁目121、122、118番地で実施した発掘調査の報告書である。
2. 発掘調査は、本市教育委員会社会教育課文化係が実施し、文化財担当職員島田義明（第1次）、柳本照男（第2・3次）が現地を担当した。
3. 発掘調査は、第1次調査を1978年（昭和53年）12月18日から1979年3月31日、第2次調査を1983年9月14日から12月2日、第3次調査を1988年10月3日から10月27日まで実施した。
4. 本書の作成にあたって、製図・拓本では長谷川幸恵、細田智子等の協力を得た。また本書の執筆は柳本が担当し、編集は柳本・浅田尚子（埋蔵文化財担当嘱託）で行った。遺物写真は情報公開課市史編纂係（撮影は楠華堂内田真紀子）から借用した。
5. 遺物実測図は基本的に土器類・軒丸瓦・道具類は1／4、丸瓦・平瓦類は1／6に統一している。また、遺物番号と写真図版の遺物番号は統一してある。
6. 挿図の方位は磁北である。

本　文　目　次

序　文 例　言

| | |
|--------------|----|
| 第1章　遺跡の位置と環境 | 1 |
| 第2章　第1次調査 | |
| (1) 調査の経緯と経過 | 2 |
| (2) 調査成果 | 5 |
| 第3章　第2次調査 | |
| (1) 調査の経緯と経過 | 19 |
| (2) 調査成果 | 21 |
| 第4章　第3次調査 | |
| (1) 調査の経緯と経過 | 33 |
| (2) 調査成果 | 35 |
| 第5章　総括 | 40 |

図版目次

卷頭原色図版 金寺山廃寺出土瓦類

- 図版 1 遺構（第1次調査）
 - (1) 遺構検出状況（南から）
 - (2) 遺構検出状況（北から）
- 図版 2 遺構（第1次調査）
 - (1) 北東部遺構検出状況（東から）
 - (2) 北西部建物跡検出状況（南東から）
- 図版 3 遺構（第2次調査）
 - (1) 遺構検出状況（南から）
 - (2) 遺構検出状況（西から）
- 図版 4 遺構（第2次調査）
 - (1) 北東部遺構検出状況（南から）
 - (2) 北西部遺構検出状況（東から）
- 図版 5 遺構（第2次調査）
 - (1) 鬼瓦、軒丸瓦出土状況（土坑5）
 - (2) 大型柱穴状土坑群検出状況
- 図版 6 遺構（第2次調査）
 - (1) 大型柱穴状土坑1上面出土軒平瓦
 - (2) 大型柱穴状土坑1上面出土瓦類
- 図版 7 遺構（第2次調査）
 - (1) 大型柱穴状土坑1芯部遺物出土状況
 - (2) 大型柱穴状土坑1底面の状況
- 図版 8 遺構（第3次調査）
 - (1) 瓦類出土状況（第3グリッド）
 - (2) 遺構検出状況（第3グリッド）
- 図版 9 出土遺物（第1次調査）
- 図版 10 出土遺物（第1次調査）
- 図版 11 出土遺物（第1次調査）
- 図版 12 出土遺物（第1次調査）
- 図版 13 出土遺物（第1次調査）
- 図版 14 出土遺物（第1次調査）
- 図版 15 出土遺物（第1次調査）

- 図版 16 出土遺物（第1次調査）
 図版 17 出土遺物（第2次調査）
 図版 18 出土遺物（第2次調査）
 図版 19 出土遺物（第3次調査）

挿 図 目 次

| | | |
|-------|--------------------------------|----|
| 第 1 図 | 市内遺跡分布図(1:50,000) | vi |
| 第 2 図 | 調査地点図(1:2,500) | 2 |
| 第 3 図 | 調査範囲図(1:500) | 5 |
| 第 4 図 | 柱穴の状況(SP-10) | 5 |
| 第 5 図 | 第1次調査全体平面図(1:200) | 6 |
| 第 6 図 | 建物 1 平面・断面図(1:80) | 7 |
| 第 7 図 | 築地状遺構の状況 | 7 |
| 第 8 図 | 土壙墓平面・断面図(1:40) | 8 |
| 第 9 図 | 土壙墓検出状況 | 8 |
| 第10図 | 平瓦に描かれた蓮の花 | 9 |
| 第11図 | 軒丸瓦実測図1(1:4) | 10 |
| 第12図 | 軒丸瓦実測図2(1:4) | 11 |
| 第13図 | 軒丸・軒平瓦実測図(1:4) | 12 |
| 第14図 | 軒平瓦実測図(1:4) | 13 |
| 第15図 | 平瓦実測図1(1:6) | 14 |
| 第16図 | 平瓦実測図2(1:4、1:6) | 15 |
| 第17図 | 平・丸瓦、鷗尾実測図(1:4、1:6) | 16 |
| 第18図 | 鬼瓦、磚、土器類実測図(1:4) | 17 |
| 第19図 | 土器類実測図(1:2、1:4、1:6) | 18 |
| 第20図 | 調査範囲図(1:500) | 19 |
| 第21図 | 土層断面の状況 | 21 |
| 第22図 | 第2次調査全体平面・断面図(1:200) | 21 |
| 第23図 | 掘立柱建物2・溝状遺構平面図(1:80) | 22 |
| 第24図 | 掘立柱建物3平面図(1:80) | 22 |
| 第25図 | 建物4平面図(1:80) | 23 |
| 第26図 | 土坑4平面図(1:40) | 23 |
| 第27図 | 土坑5平面図(1:20) | 23 |

| | | |
|------|---|-------|
| 第28図 | 土坑7平面・断面図(1:20) | 24 |
| 第29図 | 大型柱穴状土坑1平面図1(1:20) | 24 |
| 第30図 | 大型柱穴状土坑1平面図2・断面図(1:20) | 25 |
| 第31図 | 大型柱穴状土坑2(左)・3(右)断面図(1:20) | 25 |
| 第32図 | 大型柱穴状土坑4断面図(1:20) | 25 |
| 第33図 | 特殊土坑平面・断面図(1:40) | 26 |
| 第34図 | 出土遺物実測図(1:4) | 27 |
| 第35図 | 軒丸瓦実測図(1:4) | 28 |
| 第36図 | 軒平・平瓦実測図(1:4、1:6) | 29 |
| 第37図 | 平・丸瓦、鬼瓦実測図(1:4、1:6) | 30 |
| 第38図 | 第3次調査トレーナー・グリッド平面・断面図(1:80) | 33・34 |
| 第39図 | 調査範囲図(1:500) | 35 |
| 第40図 | 出土遺物実測図(1:4、1:6) | 36 |
| 第41図 | 昭和初年代地積図(『飛鳥時代寺院址の研究』より) | 37 |
| 第42図 | 金寺山廃寺出土塔心礎実測図(1:27)(『豊中市史』より) | 37 |
| 第43図 | 第1・2・3次調査平面概略図(1:250) | 39・40 |